

山梨県甲府市



モチーフとなった鳥「カワセミ」。青緑色の羽根を持ち「飛ぶ宝石」とも呼ばれているカワセミは、宝石の街・甲府市の鳥でもあります。

商品の製作に携わるすべての方々が伝えたい「甲府らしさ」を、自信を持って「Made InKofu」というメッセージとして、カワセミのその羽ばたきに乗せて世界へ発信できるような、そんな想いを込めました。

また、ものづくりの大切さ、ハンドメイドのあたたかさも感じさせつつ、商品そのものが持つ繊細さ、キラメキやカガヤキをイメージし、証(あかし・しるし)としての誇らしさをエンブレム風にまとめ、華やかに表現しました。

愛媛県伊予市



▼メインキャッチコピー

「ますます、いよし。」は、市名の「いよし」を、“いよいよ、ますます”といった繁栄を表す古語の「弥し」と重ねています。「伊予市」という市名を印象付けるとともに、“これからますますよくなる”という伊予市の希望や未来を表現しています。

▼ロゴタイプ

漢字部分の「伊予市」のロゴタイプには、緩やかなウェーブをあしらひ、市民のやさしさを表現するとともに、様々な考え方をおおらかに抱擁する海の波と、伊予市にさわやかに吹き込む新しい風を表現しました。また、漢字の間に「四国」と「えひめ」の文字を挿入することで、所在地を分かりやすく伝えていきます。

滋賀県甲賀市



甲賀市の観光資源である忍者、信楽(タヌキ)、宿場の町屋に見られる格子戸をイメージしたデザインで、色はお茶の産地(土山、朝宮)の新茶色(黄緑色)です。「甲賀ブランドに認定!」と判子をポンと商品に押したイメージです。

岐阜県飛騨市



・デザイン概要

3市1村の移住促進プロジェクトであることを踏まえ、どの地域にも共通する「山と水」から想起しました。これだけでは、他地域との差別化を見いだせないため、キャッチコピーのキーワードとなる「グッとくる」を鳥の連隊で視覚化し、山を越えてくる未来の移住者を表現しました。

ベースカラーとして雲海を表すホワイト、共に並ぶ同一デザインの4つの山々は豊かな水を表すブルー、移住者はそんな山を越えてくるハートの持ち主であることを表したピンクで表しています。



飛騨市
推奨特産品

飛騨の匠の技術である「千鳥格子」をモチーフに、交差した部分は4つの町村の位置関係を表し飛騨市を代表する特産品であることを伝えます。

それぞれの色は、山、土、木、水を表し北アルプスの豊かな自然の影響を受けた特産物であることを表しています。

佐賀県武雄市

(武雄市ブランド公式ロゴ)



コミュニケーションはシンプルな方が伝わり、直感的に伝わる「それ」を手のアクションで表現し、前向きでワクワクしている「人・笑顔」のイメージを組み合わせカタチにしました。本目的でもある市民内外に愛され、未来に繋がる楽しさがあることを目指しました。更に、展開するにあたっては「それ」とは何を指すのか、何にチャレンジするのか、が分かりやすい展開を考えています。

石川県かほく市



かほく
の文字をシンボリ化

一番の特産品
ブランドをめざして

「かほく」の3文字を抽象化・再構築し、個性的な魅力が集まって構成されるかほく市のオリジナリティ「かほく観」をシンボリックに表現しています。

埼玉県加須市



▼デザインのコンセプト

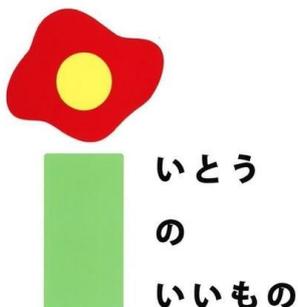
上部に埼玉一の米どころ「稲」

左側に加須市の郷土料理「うどん」

右側に市の木「桜」

下部には日本有数の生産量を誇る「鯉のぼり」のウロコ

静岡県伊東市



シンプルで色味も分かりやすく工夫しています。キャッチコピーの「いとうのいいもの」い”＝”i”が簡単に連想されます。ロゴの”i”は”あい”とも読めるので、”愛”のあるマークを表しています。また、伊東市の花木「ツバキ」の花が一見して理解できるようなデザインとしました。